

ヨーロッパ 反キリストにさらに近づいている

アミール・ツアルファティ

- 2017年10月ミネソタ・カンファレンスから -

<https://youtu.be/SIVT00QqNpY>

去年は、あの「陰々滅々とした」^{いんいんめつめつ}メッセージでした。少なくとも、そういうふうで紹介していただいたわけですが…、(笑)それは、ヨーロッパの状況が陰々滅々としているからです。今年も、さらに悪化したようです。私は、このメッセージのために研究し、準備するためにヨーロッパへ行くことにしました。ヨーロッパは大きな大陸であり、多くの異なる国々があります。もちろん、私はその起源となる場所に行く必要があると思いましたが。少なくともローマ帝国の一部に。もしもローマ帝国が復活し、そこが反キリストが出てくる場所になると私が信じているのであれば。通常の場合では、ローマ帝国ならばローマに行くでしょう。しかし、私は実際、別の場所に行くように導かれました。実際、よりによってベルリンに行くように導かれました。

私はドイツ語を話します。ドイツ語を勉強したんです。私が、皆さんに言えないことをしていた時のことです。(笑)時には、ベルリンのカフェでは、戦場で得るよりも、より多くの情報を敵方から得ることができるんです。ちょっと、お耳に入れておきますね。皆さんに知っていただきたいのですが、ベルリンは…、それは聖霊の導きだったと思うのですが、私は、そう決めつけたくはありません。私が、ただ言おうとしているのは、その街での滞在は興味深いものでした。正直に言うと、もしも明日、携挙が起こったとしたら、その街は、それが起こったことさえ分からないでしょう。では、考えてみましょう。まず最初に、昨年、私たちはどこまでお話ししたでしょうか？それ以来、ヨーロッパでは何が起こったでしょうか？近い将来、何が予測されるでしょうか？これは非常に興味深いです。私は、数人の人たちの言葉を引用^{のが}することから始めたいと思います。そのうちの1人は、ドイツ生まれのユダヤ人です。ドイツからアメリカに逃れた人で、彼の名前はアルバート・アインシュタインです。

『少数派、現在の支配階級は、学校や報道機関、たいていは教会も、その支配下に置いている。これにより、大衆の感情をまとめ、動かし、道具にすることができる』 (アルバート・アインシュタイン)

ドイツ生まれの科学者による核心を突いた内容です。彼には、その時、すでに、これらのことが見えていました。しかし、私たちの知るところの、その「少数派」というのが、もはや秘密ではないことを、私たちは認めなければなりません。なぜなら、彼らが、もはやそれを秘密としていないからです。それは、

「国際的な銀行家、および資産家のカルテル (企業がお互いの不利益にならないように結ぶ協定のこと) であり、主に、西ヨーロッパと北アメリカに拠点を置いている。特定の家名は、長期間にわたって続いている。最も重要な名前をいくつか挙げると、ロスチャイルド」

私たちは、前回それについて話しました。(『ヨーロッパ 反キリストへの準備が出来ている by アミール・ツアルファティ』 <https://youtu.be/guTF5nZlcKM>) 「ロックフェラー、モーガン、ラザード、ヴァルツブルク、シュローダー、シフ」それから、もっとあります。しかし、この世界には非常に少数の、非常に裕福な一族があり、彼らは西ヨーロッパと北米の両方に均等に分かれていて、ある使命を持っています。ジョージア・ガイドストーンを見ると、それを見つけることができます。一式の石があって、文字通り、そのグループの使命と目標を表現しています。そのひとつが、「地球の人口を5億人以下に保つ」というものです。ちょうど聞いたところでは、私たちはすでに60億人を越え、そして、いつかは90億人に到達するだろうと言うことです。もちろん、世界の人口を削減する最善の方法は、殺害すること、殺人がおなかの中にいる赤ちゃんにしろ、おな



かの外にいる人にしろ、人類の利益に役立つかたちで行われるような状況を作り出すことです。そのデイヴィッド・ロックフェラーが、自著『ロックフェラー回顧録』の405ページに書いています。

『一部の人々は、私たち[ロックフェラー家]が、米国の最大の利益に反して働く秘密結社の一部であると信じ、私と私の家族を「国際共産主義」とし、そして世界中にいる他の人々と共謀して（彼が言っているのは、主に、ヨーロッパにいる方のロックフェラー一家のことです）より統合されたグローバルな政治経済構造を構築しようとしている、と言う。言うなれば、統一世界だ。それが嫌疑ならば、私は有罪だ。そして、私はそれを誇りに思っている』（『ロックフェラー回顧録』より）

さて、その同じ人物が、ドイツで行ったスピーチ、ドイツのバーデンで開かれたビルダーバーグ会議で、こう言いました。

『もしも、我々がこれらの年月に世間の注目にさらされていたら、我々が世界のために計画を立てることは不可能だっただろう。しかし、世界はいまや、より洗練され、世界政府に向けて進む用意ができています。知的エリート層と世界銀行家による超国家主権は、間違いなく、前世紀まで行われて来た国家自動主権よりも好ましいものだ』

さて、皆さんがここで見ているのは、こういうことです。「これまで、我々は意図を隠してきた」彼が、ドイツの地で、そう言っているのです。「いまや我々は、もはやそれを隠していない。いまや、実際に、世界は洗練されて、我々がそれを進めることが可能になっている」

ラリー・マクドナルドという下院議員がいました。彼は1970年代に、この計画全体を暴露しました。彼は、次のように書いています。

『ロックフェラーと、その仲間の動機は、世界統一政府を作り出すことだ。超資本主義と共産主義をひとつの屋根の下に組み合わせて』

事実上、今日のアメリカで起こっていることが見えますか？

『私は陰謀だと言っているのか？そう、そのとおりだ。私は国際的な規模で、そのような策略があると確信している』

ほら、アメリカだけではありません。国際的な規模です。

『何世代にもわたって計画され、その意図は信じられないほど邪悪なものだ』

さて、マクドナルド議員は、これをすべて暴露するための努力にとてものめり込んでいたので、彼らは彼を消すことに成功しました。そして、飛行機に乗っていた乗客も全員です。ソ連に撃墜された大韓航空機ボーイング747です。興味深いです。

ドナルド・トランプが大統領に選ばれる直前、私はインターネットを使っていました。私は土曜日に教会にいて、主は、私の義父が語ったメッセージを通して、私に語られました。私は義父から刺激を受けています。イスラエルでは、他に義母との問題があります。（笑）私は、次の聖句を思い出しました。

義人の祈りは働くと、大きな力があります。（ヤコブ5章16節）

それは働かなければなりません。熱意がなければなりません。それは決してむなしく戻って来ません。神は、そのような者を用いられます。私たちが義にかなった者である限り。私たちが神を信じ、イエス・キリストの信者であるなら。なぜなら、キリストは私たちの義だからです。それならば、もちろん私たちは神の御前

に進み出て、そのように祈ることができるのです。面白いですよ。私たちがしばしば語ることは、ちょうど話したばかりですが、引き留めているものが取り除かれることについて。しかし、彼は、まだ取り除かれていません。ということは、彼はまだ引き留めています。彼は超自然的なことが起こるのを抑制し、壊滅的なことが起こるのを抑制します。そして、私たちが皆知っているとおりに、彼がいなくなると、ということは私たちがいなくなるとのことですが、状況は、とてもとても酷くなります。しかし彼がここに、私たちの内にいる限り、私たちの祈りの中に、物事を引き留める力があるのです。私が確信しているのは、世界中の何百万人もの福音派のクリスチャンによる、あの祈り、その悪がアメリカ合衆国を統治して、アメリカを、さらに底知れぬ所の深みに引きずり降ろすのを防ぐためのあの祈りに、主が答えてくださったのだと、私は確信しています。引き留めるものが実際に引き留め、そして、グローバル化、世界統一政府、新世界秩序を推し進める取り組みは、ドナルド・トランプがアメリカ合衆国の大統領に選出された時、大きな敗北を経験しました。私は、国連での彼の演説に非常に注意深く耳を傾けました。もし私が国連代表だったら、自分の面前に突きつけられるすべての真実を聞いて、非常に恥ずかしくなっただろうと思います。その組織がいかに邪悪で、どれほど偽善的であるのかが分かって。というのも、トランプ大統領は彼らの実態がどういうものかだと思っているか、「トランプ授業」をしたのです。

でも、考えてみてください。これらのグローバリストの世界統一政府に向けた努力は、いま、ヨーロッパに戻って行っています。なぜなら、アメリカでは挫折を経験しているからです。間違えないでください。皆さんの国の軍情報部と、そして、もちろん政治家の中に、確実に・・・ところで、私は共和党も民主党も同様に、これに感染している人たちがいます。民主党や共和党とは何の関係もないD.C.エリートがいます。これらは家族です。仲間です。私は共和党は民主党と同じくらいトランプを嫌っていると思います。私は皆さんにひとつ言えることがあります。それは、トランプが外部から来ているのを見て分かるということです。そして、沼地の排水をしようとする彼の試みにおいて、いま、その沼地から巨大な怪物が出て来ているのが見えます。その怪物は、「冗談は、顔だけにしろよ」と。(笑)これらの人々の多くはいま、ロシアを非難し



ています。皆さんの選挙に何らかのかたちで介入したと言って。そうですね？私はイスラエル人です。皆さんは、もうご存じのことですが。ちょっと言わせてください。皆さんの前大統領は、2年前の私たちの選挙に激しく介入しました。彼はネタニヤフが負けるようにと彼の候補者を助ける人々を支援しました。それでも十分でないと言うなら、オバマはフランスの選挙において、土壇場から介入をしてマクロンを助けました。つまり、それがどう移って行っているのを見ることができます。それはアメリカではうまく行っていません。「どうしようか？」
「ヨーロッパの相方がそのことを前進させるのを助けよう」そして彼らは、マクロンをヨーロッパの救世主となる可能性のある者として売り出しました。メシアと同じように水の上を歩かせて。だれもが溺れている時に、彼が彼らの救世主かもしれない、と。それは、ものすごくよく知られている戦術です。危機を作り出し、いいですか？そしていったん危機を作り出したら、人々を混乱させて、そして彼らに希望を与えます。

危機を作り出す時、その危機は数年前に始まりました。ニューヨーク・タイムズ紙は、実際に「オバマがアラブの春を始めた」と認めています。それは秘密でもありません。さて、何が起こったのかを理解しようとすると、これを見てください。次のものを見てください。世界のエリートがひとりの大統領を送り込んで、アラブの春を発進させると、それはふたつの別々の方向に面倒を起こします。ひとつに、それは中東に何よりも混乱を生み出します。これまでに70万人以上の死者を出してきた混乱です。そして何百万人もの人々が避難しています。その混乱はヨーロッパへの膨大な移民につながりました。それは非常に大きな混乱や絶望、治安悪化と安定性の欠如を引き起こしました。そして、彼らは救世主を望んでいます。だから、それは2つの方向に働きました。そして両方とも、どういうわけか私たちの聖書預言の理解をもってすれば、両方とも、私たちの知る、将来起こることに非常によくつながっていきます。その危機



が始まったのは、信じられないような話しですが、2009年に（オバマ）がカイロのイスラム系大学の講壇に立っただけではなく、むしろ、当時の国務長官クリントンが、ムアンマル・カダフィを取り除く必要があると決めた時のことでした。さて、皆さんの多くはそれを知らないかもしれません。しかし、ウィキリークスがクリントンについて公開したメールのほぼ三分の一は、何らかのかたちでリビアと関係していました。私たちが自問すべき事は、「リビアに対する執着は、なんなのか？」つまるところ、カダフィは、欠点がありながらも…、彼が聖人ではなかったのは確かですが、しかし、カダフィはその地域で唯一の安定材料でした。カダフィは実際にヨーロッパ諸国に次のように言いました。

「私はアフリカ人のヨーロッパ侵攻を止める者になる。それを行うことができるように必要なお金を支払ってくれば、私は、あなたのためにそれをしよう。そのためには、それだけのお金が必要だ」

しかしカダフィには、また独自の考えがありました。石油に関するものです。石油価格や、石油価格の設定方法について。彼はアラブ世界とヨーロッパの国々の両方、そして他の国々に提案しました。

「我々は、オイル・ダラーの使用をやめ、ディナール金貨を使い始めたほうがよい」

つまり、我々は、もはや国内にある現金に基づいて価格を設定するのではなく、国内にある金を基準にするのだ。それは当然、アメリカのエリートたちとヨーロッパのエリートたちの両方に大きな不安を与えました。彼らは、ここから多くの利益を得ているのです。彼らはヒラリー・クリントンに、こう言うことにしました。カダフィを取り除くのは彼女の利益になる、と。彼女が大統領に立候補するとき、それが彼女の切符になる、と。彼女は中東から悪者を除き、石油価格を安定させた。そのため、世界市場が大いに安定するのだ。でも、これを見てください。ニューヨーク・タイムズの報道です。

「批評家でさえ、ヒラリー・クリントン主導によるNATOのリビア爆撃が、いかに悲劇的なほどに悪いものであったかを過小評価している」

何が起こったかという、あの「コルク」が抜かれ、それ以来、私たちがちょうど聞いたように、リビアから継続的な洪水が流れ出しています。リビアはアフリカの中でヨーロッパに最も近い国です。では、皆さんに分かるように、その仕組みを説明しましょう。

それは、極めてよくできています。大金を払わなければ、だれも船に乗れません。言っておきますが、これらはとても貧しい人たちではありません。そして、彼が多額のお金を支払うと、イタリアの海岸にいる別の船が知らせを受けます。イタリアの海岸で知らせを受けた船は、「救助隊」の船です。いいですね。だから、1隻の船がリビアの海岸を発ちます。その船はイタリアのマフィアに多額のお金を支払った人たちを積み込んでいます。そして救助隊を積んだ別の船、だれによって支払われているのか？皆さんは信じないかもしれませんが、救援団体が救助するのを助け、彼らにその頭数に従って支払いをする寄付者のナンバーワンは、ジョージ・ソロスに他なりません。聞いてください。この男が何と言ったのか、見てください。

（見出し：ソロス、移民危機への関与を認める）

「私は、国境が世界の障害だと信じています」

ソロスは実際に、最終的にはそこから利益を得るわけです。なぜなら、彼とマスターカードは、移住の動きから利益を得るために力を合わせていますから。さまざまな方法と計画で。この男はカメラの前で認めたくんです。彼は欲のために悪いことをたくさんした、と。しかし、いま彼は他の人を助けることで、どうにか、それらのことを補おうとしている、と。私たちが、いま聞いたばかりの危機、それに匹敵するような出来事は、過去100年間にありません。

別の記事を見てみましょう。「移民危機に立ち向かえず、ヨーロッパは自殺している」文字通りに。ですから、危機を作り出した後で…、そして危機は存在します。次に分裂を引き起こします。それはすでに知られている戦術です。分裂は、様々な形で引き起こされます。まず、国内において分裂を引き起こします。初めて…、ところで、私は選挙の前の週にベルリンにいました。私には、すでにどうなるかが分かっていました。私は預言者ではないと言いましたね。そのことを知っていますよね。しかし、だれの目にも見えていました。危機が分裂につながり、そして、その分裂が選挙結果に現れることになる。そして、何が起こったと思いますか？メルケルは確かに勝ちましたが、過半数ギリギリです。そして第三帝国の崩壊以来初めて、だれが、



ドイツの国会議事堂、ドイツ議会で代表権を受けたと思いますか？それは非常に極右の国家主義政党で、その党名は、『ドイツのための選択肢』です。それはドイツにとって、ヨーロッパにおける驚くべき成功でした。その政党の驚くべき成功がドイツとヨーロッパにとって意味したことは、ドイツは内側から分裂しているということです。ヨーロッパが内側から分裂しているということです。皆さんは同じことを聞きました。私たちは、どうやってマクロンが当選したか聞いたばかりです。マリーヌ・ル・ペン、左派からまるでナチスのように思われています。彼らが皆に納得させたのは、「もし彼女が勝つなら、我々はビシー時代に戻ることになる」ということでした。ファシストの支配になるだろう、と。したがって、誰でもいいから、他方に投票しなさい。あなたは彼のことを知っていますか？「いいえ。彼が見栄えのいい男で、自分の教師と結婚したのは知っています」しかし…、まさか。(笑) 世界最大の経済大国の1つである国の大統領を、そんなふうを選ぶのですか？だから国の中で、人々は分裂しています。そして、もちろん国家間の分裂があります。「欧州諸国は、主要サミットの前に、難民危機のことで深く分裂」私に言わせれば、西ヨーロッパの核心が東の政策から分かれて来ているのが、ハッキリと分かります。不法移民はヨーロッパと、ポーランドなどの東部地域のEUを分裂する。私たちはハンガリーについて聞きました。

ところで、ハンガリーの大統領は、ソロスを問い詰めました。ソロスはハンガリー人です。ソロスはオルバン氏の高校と大学の授業料を支払いました。お耳に入れておきますね。ハンガリーの首相のために。彼ら



は、かつて仲の良い友達でした。その総理大臣がこう言うまでは。「あなたが私を助けてくれた時は、すべてが素晴らしかったが、あなたは今、私の国を破壊しようとしている。私はそれを支持するつもりはない」チェコ共和国やスロベニアなどは、国境を開くことを拒否しました。ですから、ダニエルが言ったように、それが一種の帝国になるのが分かりますね。しかし、それはそんなに団結はしないで、分裂するでしょう。混じり合わない、鉄と粘土です。石が砕くことになるものは…。そして、

私たちは知っています。その石が誰であるかを、前回、取り扱いました。確かに分裂しています。ユンケル大統領が9月13日に行った一般教書演説を聞きました。演説の中で、彼はEU全体の軍隊の計画を具体化しました。彼は、それを有権者の同意なしに押し通そうとしています。それだけでなく、今日、ヨーロッパには2つの異なる機関があります。欧州委員会と欧州理事会です。彼はその2つを組み合わせたいと思っています。それは「EU指導部を変革する動きとなり、その地位のために活動する単一の人物に権限を統合する」そして、ローマ帝国の崩壊以来初めて、ヨーロッパはひとりの指導者を持つこととなります。戦争によってではなく、ヒトラーでもなく、平和的な手段によって。

皆さんが理解しなければならないのは、歴史をふり返ると、ヨーロッパは紀元前27年から紀元395年まで、ローマ帝国の支配下にありました。それはダニエルが語った、当時のエルサレムの神殿を破壊したローマ帝国でした。しかし、それから



ダニエルは、それについて未来表現で語り続けました。まるで、それが復活するかのよう。しかし、紀元117年がローマ帝国の繁栄の極みでした。それが、どれほど大きかったかを見てください。(赤で塗りつぶされた箇所) 非常に、非常に広大です。西ヨーロッパ全土、そして、もちろんトルコ、シリア、レバノ



ン、エジプトと北アフリカ沿岸。しかし、皆さんの多くがおそらく知らないのは、ヨーロッパの皇帝、つまりローマ皇帝がキリスト教に回心すると…、まあ、彼は実際には回心しませんでした。彼は「彼らに勝てないなら、一緒になれ」と言いました。回心したのは、彼の母ヘレナでした。これが分裂を引き起こしました。ビザンチン帝国が東に移動した一方で、ローマは、もはや首都ではなくなりました。だから、それは、もはやローマ帝国とは呼ばれなかったわけです。それは、今日のイスタンブールであるビザンティウムに移動し

ました。しかし、それはまたコンスタンティヌスにちなんで、コンスタンティノープルとも呼ばれました。

その後、395年から476年まで、西ローマ帝国が存在しました。それはフランス、ポルトガル、スペインの端までと、北アフリカ沿岸の一部を含みました。ビザンチン帝国は1453年までずっと続き、最終的な破壊を迎えました。

ここで興味深いことがあります。私はベルリンにいて、異なる時代からのものをいくつか見に行きました。私は自問していました。「ヒトラーが彼の王国を第三帝国と呼んだのは、なぜか？」というのは、誰もが第三帝国とは言っていますが、第一帝国は何でしたか？第二帝国は何でしたか？なぜ、すでに3つ目なんですか？そして私が気づいたのは、明らかに第一帝国は、ウィキペディアで調べるかグーグルでその名前を検索すると、教皇がドイツの王に西ヨーロッパの支配を委託したとき、それは彼らの歴史では第一帝国と見なされ、また、神聖ローマ帝国と見なされています。それをご存じでしたか？神聖ローマ帝国があったのをご存じでしたか？800年から



1806年まで。それに終止符を打ったのは、ナポレオンです。あの小さな男は、とても活動的でした。(笑)これが神聖ローマ帝国の地図(紫色の地図)です。その大半を構成していたのは誰だと思いませんか？だれがその中心にいたのでしょうか。第一帝国の？まぎれもなくドイツです。

その後、第二帝国が来ました。歴史書を見ると、ドイツ皇帝支配下のドイツ帝国です。ヴィルヘルム皇帝は1871年から1918年、第1次世界大戦の終わりまで、そこにいました。そして、これがその地図です。(緑色の地図)それから言うまでもなく、ドイツは彼らの歴史の中の他の部分を経験しました。あまり楽しくないものです。なぜなら、彼らはベルサイユの非常に屈辱的な条約から回復しなければならなかったからです。そして1923年に、ドイツの作家アルトゥール・メラー・ファン・デン・ブルックによって書かれた本があります。これは「ナチス党に大きな影響を与えたイデオロギーで、この本は、国家権限付与の『理想』を明確に述べている。それは、ベルサイユ条約から立ち直るのに必死だったドイツ全土に響き渡った」そして彼はその著書名を『Das Dritte Reich』つまり『第三帝国』としました。だから、ヒトラーが1933年から、あの恐ろしい期間の終わりまで政権を握った時に、それは「第三帝国」として知られたわけです。そして彼の拡張計画は、もちろんヨーロッパをはるかに超えて、彼はロシア全体に当たる部分を支配することを望んでいました。

さて、残る質問は、私たちは4番目のもの(第四帝国)を見ることになるのか？それが面白いんです。なぜなら、間違いなくベルリンには、単なるドイツの一都市として以上の位置づけがあります。私たちは前回、それを検証しました。ペルガモンのベルリン博物館に行くと、1930年以来、「サタンの座」として知られるゼウスの祭壇が、トルコのペルガモンから少しずつ取られ、はるかベルリンに持ち込まれたことが分かります。皆さんはバル神殿のアーチ再建に抗議しましたね。これは再建されたものではありません。本物です。そして、それはベルリンにあります。それだけではなく、イシュタル門(青色の門の写真)を覚えていますか。バビロンの門の1つで、ドイツの考古学者によって持ち込まれ、その全部が、いま、ベルリンにあります。ベルリンには、バビロンの門とサタンの座があります。



さて、私はユンケル氏が新しい軍事力のことを考えていると言いましたね。皆さんがおそらく知らないのは、フォーリン・リポートが、今年の5月22日に、こう報告しました。

「ドイツは、その指揮下に密かに欧州軍を築いている」

非常に興味深いですね。ドイツの元大統領、いえ、元首相のヘルムート・コール氏が死亡した、との報道があった時、彼が実際にドイツの再統一の設計にあたった人でした。1990年に壁が崩壊してから。彼が亡くなって、追悼式があると報道されたとき、私は、世界の指導者たちが全員、ベルリンか、少なくともドイツに飛ぶだろうと思いました。なぜなら、彼はドイツ人で、それはドイツの問題だからです。私は、あっけにとられました。まあ、気にしないでください。彼の追悼式が行われたのは、ドイツでさえありませんでした。それは欧州議会で行われました。ドイツ国旗さえなく、ヨーロッパの旗でした。要するに、ドイツは自らをドイツとして位置づけているのではなく、何として？そうです。ヨーロッパの支配者として。私は3~4ヶ月前に行われた調査に行き当たりました。欧州連合（EU）全体で行われたものです。

いくつかの質問が、私の注意を引きました。最初に、「昨年パリ、ブリュッセルやベルリンで起こったようなテロ攻撃が、あなたの国で起こる可能性はどのくらいあるでしょうか？」結果を見てください。37%が「可能性が高い」と、48%が「やや可能性が高い」と言いました。80%以上の人々が、差し迫ったテロの脅威があると思っているんです。「あなたの国に入ってきている不法移住は、どれほど深刻な問題だと思いますか？」非常に深刻：50%；やや深刻：31%；81%が問題だと考えています。「あなたは以下の機関を、どのくらい信頼していますか？」あなたの国の政府：51%が「全く信頼しない」と言っています。ですから、危機を作り、分裂を引き起こすと、その国の中で、これらの人々や彼ら自身の指導者に対する不信感を生み出します。すると、だれかが他のだれかを探し求めます。救出者を待つためには、混乱、絶望が必要です。彼らは、彼（反キリスト）が現れた瞬間に彼を受け入れます。私は、これを何度か引用してきたと思います。

ミシェル・バックマンが、ヨーロッパで何が起きているかについて優れた報告をしてくれたばかりです。人口統計上の問題について。もちろん、ヨーロッパはある意味で、自殺をはかっています。ジョージ・ワイゲルは、ワシントンDCの倫理および公共政策の著名な上級研究員で、彼は欧州議会に出席し、スピーチをしました。彼は書いています。

「ヨーロッパは人口統計上の自殺を犯している。体系的に自らの人口を減らしている。英国の歴史家ニール・ファーガソンが、次のように呼んだものだ。

『14世紀の黒死病以来の、ヨーロッパ最大の持続的な人口減少』

私は移民のことを言っているわけではありません。移民は、彼らの答えです。私が話しているのは、ヨーロッパの人々自身のことです。

「最も基本的な意味で、新しい世代を作り出すことによって未来を創造しようとしませんが、ヨーロッパの多くの問題の根本にある。移民を同化される上での困難や、財政難を含めて。これまでになく健康で、裕福で、安全な大陸全土が、故意に不妊を選択する時、その最も基本的な原因は、間違いなく人間の霊的な領域にあり、存在の謎そのものに関するある種の源にある」

さて、面白いのですが、彼のスピーチの後で、欧州議会のイタリア代表が、彼のところに来て言いました。

「いいか、我々が一巻の終わりなのは分かっている。我々は、自分のベッドで快適に死ぬるように、いろいろと整えようとしているのだ。オマエらアメリカ野郎がここに来て、物事をかき混ぜ始めないでくれ」彼らは自分が死の床にいることを理解しています。彼らは、皆さんの意見には関心がありません。彼らは警告にも関心がありません。彼らは死の床で快適さを保つことだけに関心があるのです。

「ヨーロッパ最大の経済大国の首相、または大統領たち、排他的なグローバル・クラブであるG7のヨーロッパのメンバー全員には、子どもがいません。ドイツのアンゲラ・メルケル、イギリスのテリーザ・メイ、イタリアのパオロ・ジェンティローニ、フランスのエマニュエル・マクロン。このグループに加えて、子どもをのいないオランダの首相マルク・ルッテ、子どもをのいないルクセンブルクの首相、クサヴィエ・ベッテル。そして特筆すべき事は、欧州連合（EU）へと進化したものを創設した6カ国のうち、5カ国は、現在、子どもをのいない首相や大統領が率っています。

なぜ、そんなに重要なのでしょうか？次は誰でしょう？ヨーロッパの中で誰になるのか、私たちに、はっきりと分かりませんが、しかし、彼らがイスラエルに友好的であることが、なぜ、そんなに重要なのでしょうか？皆さんが理解しなければならないことがあります。これは、聖書を教える多くの人たちが無視をしたり見落とししたりしがちなことです。反キリストは、イスラエルの良い友でなければなりません。イスラエルの人々、ユダヤ人達の利益にかなう必要があります。彼らに崇拜されるほどにまで、彼らに好かれなくてはなりません。人々は私に言います。「それはエルドアンに違いない」エルドアンは、私が今まで見た中で最大の反ユダヤ主義者です。彼をメシアだなどと思うようなイスラエル人は、ひとりもいないでしょう。それは、他のだれかでなければなりません。おそらく、皆さんはこう言うでしょう。

「いったい、どうしたらユダヤ人が、非ユダヤ人のヨーロッパの指導者をメシアとして見ることができるのか。それは行き過ぎだ」

さて、それは行き過ぎではありません。なぜなら、その男はヨーロッパの問題を解決しなければならないだけでなく、世界に希望を与えるだけでもありません。それでは十分ではありません！彼がユダヤ人に受け入れられなければ、その名声は何もなりません。皆さんが過去にそれを試した人の例をお求めなら、この興味深い記事を見てください。「ナポレオン：現代の『メシア』？」おそらく、皆さんは私を見て、「冗談は



顔だけにしろよ」と。これを見てください。私たちは200年前の硬貨を見つけたばかりです。片面には、ナポレオンの肖像が以下の文字に囲まれています。「皇帝にして王たるナポレオン」そこまでは悪くありません。その硬貨をひっくり返してみましょう。皇帝の衣装を身にまとったナポレオンが、ひざまずくフランスのユダヤ人に、十戒の書かれた板を与えています。その肖像の下に刻まれている語句は、「グラント・サンヘドリン（最高議会）」それから、ナポレオンがその議会の招集を発表した日付。「1806年5月30日」フランスにいるユダヤ人たちは、ナポレオンに望みを置き、彼が、当時のフランス全体にあったユダヤ人に対する憎しみから、自分たちを救い出してくれる者となるのを望んでいました。彼らは、ナポレオンが初めて71人のユダヤ人指導者を召集したことに、非常に色めき立ちました。その数は、古代のエルサレムにおけるグラント・サンヘドリン（最高議会）の数に一致するものです。彼は基本的に、彼らの支援と友情を買収したわけ

です。反キリストは、イスラエルの友でなければならず、ユダヤ人の信頼を買わなければなりません。彼らが再び支配することを、神殿の丘においてさえも、可能にすることによって。神殿の丘に彼らが神殿を建てることを許可することによって。そして時が来ると…

ところで、ユダヤ人は皆、メシアの来臨を祈ります。それは神殿の再建、平和、安定、繁栄の内に明らかにされます。そして、最初の3年半の間は、-正直に認めましょう-それは良いものでしょう。それは、とても良いことでしょうか。非常に興味深いことが起こるまでは。ユダヤ人は、イエスのどういうところを受け入れようとしなかったのでしょうか？彼がメシアである事ではありません。彼らは、決してイエスに言いませんでした。「あなたはメシアではない」一度も。なぜなら、彼らの考え方では、メシアは人です。神によって油を注がれていますが、人間です。だから、彼はメシアでもよかったです。彼らがイエスを問題視し、そのために彼を冒涇者と呼んだのは、彼が、次のように言ったことです。「わたしと父はひとつです」「わたしは受肉した神です」それは行き過ぎでした。メシアは繁栄と平和をもたらす人であるというユダヤ人の理解は、なくなっています。だから、彼らは彼（反キリスト）に従っていくのです。それが誰であっても。しかし反キリストが神殿に入り、自らを何者であると宣言する？彼らが「もうたくさんだ」と言うのは、その時です。

「私たちは2000年前に、あの人を受け入れなかったのだ。私たちは絶対に、あなたを受け入れない」これが、「ヤコブの苦難」として知られ、イスラエルが最も恐ろしい経験をする時です。

だから、ご覧のようにヨーロッパは間違いなく準備ができていて、これまで以上にその平和と繁栄をもたらすべき者の誕生に近づいています。そして彼は、ユダヤ人たちに見事に受け入れられるでしょう。しかし私たちが、私の友J.D牧師 (Pastor J.D.Farag) の口から聞いたように、まず、何かが起こらねばなりません。きっかけとなるものが、起こらなければなりません。戦争です。そして、私はその戦争が、また、私たちがここから出るためのしるしでもあると信じたいのですが、それが起こらなければなりません。そして、その戦争が中東で起こる時、イスラムには、もはや力がありません。そして、それがヨーロッパの指導者がユダヤ人にエルサレムを容易に提供することができる時なのです。イスラム世界からの大きな抵抗を受けることなく。今日、サウジアラビアの国王がプーチンを訪問しました。そして、サウジアラビアは、次の解決策以外は受け入れないという事実を繰り返し述べました。エルサレム、少なくとも旧市街が、一彼らはそれを東エルサレムと呼びますが、一次のパレスチナ国家、将来のパレスチナ国家の首都になる。今のところ、イスラム教徒は、いかなる解決策も受け入れません。それがエルサレムを彼らの首都としていなければ。しかし、彼らがいっただん「究極の戦争」に負けると…、それはエゼキエル戦争のことですが、なぜ私は、それを「究極の戦争」と呼ぶのか？イスラエルにしてみれば、初めて、超大国がイスラエルに侵攻するからです。1948年以来、私たちの戦争はすべて、近隣のアラブ諸国との戦いでした。もしかしたら、超大国が彼らを助けていたかもしれません。しかし、超大国がイスラエルに侵攻したことは、決して一度もありません。これは初めてのことになるのです。ロシアが軍隊をもって、実際にイスラエルに侵攻してくるのは。さて、どうしてアメリカは私たちを助けないのでしょうか？私たちは、すでにいろいろなシナリオについて聞きました。皆さんは、どうしてそんなに落ち込んでいるのですか？(笑) 皆さん全員に思い出してもらいたいと思います。

もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。
(コロサイ3章1節から2節)

信じてください…、皆さんはそれら地上のもののことを考えない方が良いでしょう。

私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。 (ピリピ3章20節)

J.D兄は、「主が私たちのことを待ち望んでおられる」と言いました。そのとおりです。

主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。 (ピリピ3章20節)

ですから、私は、これが希望に関するものであり、絶望に関するものではないことを私たち全員が理解することを願っています。これで終わりです。私たちはゴール間近に入っています。私たちは競争を走っているのであって、私たちは忍耐をもって走らなければなりません。そして、私たちは、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを見つめなければなりません。(拍手)
アーメン。

祈りましょう。

お父様、私たちはあなたにとっても感謝します。この混乱と絶望の世界、希望がなく、安定に欠き、平安のないこの世界で、私たちは、誰が私たちの平安であるかを知っています。私たちは、誰が私たちに平安をくださり、私たちにある祝福された希望が何であるかを知っています。お父様、私たちはあなたに感謝します。約束された方は真実な方であること、そして、彼(イエス・キリスト)が来られることを。そして、確かにその日が近づいています。

お父様、私たちはいろいろなことが起こっているまっただ中で、あなたが今日、私たちを用いてくださることを祈ります。なぜなら、それが、あなたが私たちを、まだここに残しておられる唯一の理由だからです。忙しく働き、福音を広めるために。御言葉を宣べ伝えるために。そして、あの希望を与えるために。そして、すべての理解を越える あの平安を私たちの周りの人々に与えるために。私たちは彼らに「ゴスペル（ゴスペル剤）」を与えましょう。永遠のいのちを得るために私たちが摂取した錠剤。そして、あなたが私たちにくださった錠剤は、十分にあります。私たちが他の人に与えることができるように。

今日は、ミネソタ州エデンプレーリーから、あなたの御名をほめたたえます。そして、お父様、私たちはあなたに願います。この終わりの時代に、あなたが私たちに知恵を授けてくださいますように。そして、ただ競争を走るだけでなく、競争を走り抜くための忍耐を与えてください。私たちはあなたに感謝し、私たちは、あなたをほめたたえます。そして、私たちは、これらすべてのことを、イスラエルの聖なるお方の比類なき御名において求めます。王の王、主の主、ユダの獅子、神の小羊として来られ、全世界の素晴らしい支配者として戻って来られるお方。そして、彼はエルサレムから全世界を統治されます。主は私たちと共にいてくださり、私たちは永遠に主と共にいることになります。

主の御名によって、私たちは祈ります。

私たちは、イエシュア、イエスの御名によって祈ります。

そして、神の民は皆、声をそろえて…

アーメン。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.03.24 (Tue)